



2024年5月15日

各位

会社名 ユー・エム・シー・エレクトロニクス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 大年浩太  
(コード: 6615 東証プライム市場)  
問合せ先 管理本部経営企画部部长 一萬田祐司  
(TEL. 048-724-0001)

**通期連結業績予想と実績値との差異、通期個別業績の前期実績値との差異並びに営業外収益、営業外費用および特別損失の計上に関するお知らせ**

2023年11月14日に公表いたしました2024年3月期(2023年4月1日~2024年3月31日)の通期連結予想、並びに2023年5月15日に公表いたしました2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)の個別実績と、本日公表の2024年3月期の実績において、差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

また、2024年3月期決算において、下記のとおり営業外収益、営業外費用および特別損失を計上しましたのでお知らせします。

1. 2024年3月期 通期連結予想と実績値の差異(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 通期連結予想と実績値の差異

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2023年11月14日)	131,000	1,500	800	300	円 銭 10.61
実績(B)	131,289	2,043	1,233	1,021	36.12
増減額(B-A)	289	543	433	721	
増減率(%)	0.22	36.25	54.17	240.47	
(参考) 前期連結 実績 (2023年3月期)	161,706	2,222	1,179	637	22.54

(2) 差異の理由

2024年3月期の連結業績について、売上高は予想通りとなりました。損益面につきましては、ロス低減に向けた改善活動効果による製造経費および販管費の抑制により、営業利益、経常利益が増加いたしました。また、繰延税金資産の計上等により親会社株主に帰属する当期純利益が増加いたしました。

2. 2024年3月期 通期個別業績の前期実績値との差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 通期個別業績の前期実績値との差異 (百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値 (A)	19,943	507	1,449	678	23.99
当期実績値 (B)	20,102	257	2,787	1,313	46.46
増減額 (B-A)	159	△249	1,337	635	
増減率 (%)	0.80	△49.20	92.30	93.70	

(2) 差異の理由

2024年3月期の個別業績について、売上高は前期実績並みとなりました。損益面につきましては、機種構成の変化により営業利益は減少しましたが、子会社からの受取利息および受取配当金の増加並びに為替差益の計上により経常利益が増加しました。また、貸倒引当金繰入額が増加し特別損失を計上しましたが、当期純利益は増加いたしました。

3. 営業外収益、営業外費用および特別損失の計上 (個別)

(1) 営業外収益の計上について

①受取利息

子会社への貸付等のため、受取利息 13 億 51 百万円を 2024 年 3 月期個別決算において営業外収益として計上いたしました。

②受取配当金

子会社からの配当が発生したため、受取配当金 9 億 39 百万円を 2024 年 3 月期個別決算において営業外収益として計上いたしました。

③受取地家賃

神奈川事業所の建物及び付帯設備の賃貸により家賃収入が発生したため、受取地家賃 33 億 1 百万円を 2024 年 3 月期個別決算において営業外収益として計上いたしました。

④為替差益

昨今の為替相場の変動により、為替差益 4 億 82 百万円を 2024 年 3 月期個別決算において営業外収益として計上いたしました。

(2) 営業外費用の計上について

神奈川事業所の建物及び付帯設備の賃貸により不動産賃貸費用が発生したため、賃貸費用 28 億 54 百万円を 2024 年 3 月期個別決算において営業外費用として計上いたしました。

(3) 特別損失の計上について

子会社における債務超過額に対応するため、貸倒引当金繰入額 12 億 47 百万円を 2024 年 3 月期個別決算において特別損失として計上いたしました。

(4) 業績に与える影響

上記の営業外収益、営業外費用および特別損失につきましては、本日付で公表しております「2024 年 3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

以 上